

平成23年度第7回江東区外部評価委員会

1 日 時 平成23年8月16日(火)
午後7時00分 開会 午後7時55分 閉会

2 場 所 江東区防災センター2階第21会議室

3 出席者

(1) 委員()は欠席

(安念 潤 司〔委員長〕)

藤 枝 聡

桑 田 仁

山 本 かの子

(トーマス 理恵)

(浦 田 清 美)

篠 田 正 明

木 村 乃

大 塚 敬

牧 瀬 稔

駒 田 千代子

町 田 民世子

山 口 浩

(2)事務局

政 策 経 営 部 長

企 画 課 長

財 政 課 長

計 画 推 進 担 当 課 長

大 井 哲 爾

押 田 文 子

大 塚 善 彦

田 淵 泰 紀

4 傍聴者数 0名

5 会議次第

1. 開会

2. 議題

(1) 平成23年度 外部評価結果報告書(案)について

3. その他

4. 閉会

6 配付資料

・ 席次表

・ 資料1 平成23年度 外部評価結果報告書(案)

午後7時00分 開会

副委員長 これより第7回江東区外部評価委員会を開催いたします。委員の皆様にはご多忙のところご出席いただきましてまことにありがとうございます。本日は安念委員長、トーマス委員、浦田委員からご欠席の連絡を頂戴しております。初めにお手元の資料の確認をお願いいたします。席上に配布されております「会議次第」に配布資料の一覧がございます。配布資料をご確認いただき、不足がございましたら事務局職員までお願いします。

議 題

(1) 平成23年度 外部評価結果報告書(案)について

副委員長 それでは、「平成23年度 外部評価結果報告書(案)について」を議題といたします。この外部評価結果報告書(案)は、各委員よりご提出いただきましたヒアリング後の外部評価シートに基づきまして、各班の班長3名から構成される小委員会において調整の上、とりまとめたものです。本件につきまして、事務局より説明をお願いします。

事務局 それでは平成23年度の評価結果報告書案についてご報告を申し上げたいと思います。今、副委員長からもございましたが、各3回、更に全員で1回ということで、主管部課長とのヒアリング、そしてヒアリング終了後、各委員から頂戴いたしました評価シートに基づいて小委員会での検討の上、取りまとめたものでございます。その取りまとめにあたりましては、各委員のお考えを班ごとに確認をいたしまして、取りこぼしのないよう極力、オーバーしても意見をきちんと載せていこうという趣旨でご議論をいただきました。すべてということではございません。事前にお送りしてございますので、主だったところ、各班ご評価いただいたところでも特徴あったところについてだけ、ご説明の内容とさせていただきます。1枚おめくりをいただきまして、前文でございます。本日、掲載できてございませんけれども、この委員会の取りまとめということで私ども作らせていただきまして、木村副委員長のほうにご確認ということでお願いをしたいと考えております。もう1枚おめくりをいただきまして、目次になってございます。全体で4部構成、今回のこの外部評価委員会についての説明、それから19の施策及び「計画の実現に向けて」のご評価、それから、総評とございますのは、施策の評価だけではなく、全体にかかることについてとりまとめを行う場合、前年度からこういった形をとってございますけれども、総評というところで取りまとめでございます。最後に要綱等の資料をつけているところでございます。恐れ入ります、1から5ページに当委員会の概要を取りまとめてございます。2ページの3のところございま

すけれども、本年度につきましては、新たに3名の公募区民の委員の方にご参加いただきました。4の評価の対象につきましては、昨年度と今年度の2ヵ年で、長期計画に定める全施策ということでございますので本年度は19施策。それから4ページの23年度の変更点については、新たな3名の公募区民の方のご参加と、「計画の実現に向けて」は、全員によるヒアリング。昨年度の総評を踏まえまして施策評価シートの様式の変更。更には参考資料といたしまして、事業概要の一覧ということで、施策ごとに23年度、22年度予算の比較をいたしました事業一覧をご活用いただきました。本題でございます評価結果でございますけれども、この次に2といたしまして、施策評価ということで7ページ以降に取りまとめてございます。各班2つずつご評価を頂戴したものについてご説明をさせていただきます。8、9、10ページにかかってまいりますけれどもご覧ください。1班でお願いいたしました「身近な緑の育成」でございます。全体的な所管の説明といたしましては緑の整備については、進んできた。これからは区民が緑の豊かさを実感できる施策の展開が必要だということ。それから区民参画にこれから力を入れていきたいということが現状と課題、それから取り組みの方向性の中では示されてございました。ご評価の中でもそういったところを主流にご評価が取りまとめられてございます。10ページをご覧ください。10ページに記載してございますけれども、この身近な緑の育成につきましては一定の成果は上がっていると。ただ、今度は緑の量を増やすことではなくて質を高める取り組みだと。高めるにあたっては民有地の緑化等を区民なり事業者が参加した形での取り組み、成果を示す必要があるということ。それから総合評価のところには載っていますが、コストを要することへの考慮。それからどの程度まで緑化を進めるのかといった目標もきちっと示すべきではないかというご評価を頂戴いたしました。

次に14から16ページにかかってまいります。2班でご評価頂戴いたしました「子育て家庭への支援」でございます。本区、14ページの課題、環境変化のところがございますけれども、他の自治体と違いまして少子化傾向にある中でも、多子化というべき傾向にあると。負担が増えている。特に乳幼児のお子さんが増えている中で核家族化の進展、急速な人口の増の中で子育て家庭が不安感・負担感を感じる中、それから地域として子育ての対応力の向上を図るべきだと。こういったところが施策全体の基調でございました。こうした中でそれぞれの事業なりをご覧くださいながら、成果指標に関するご議論をいただきながらご評価頂戴したところが、16ページでございます。この施策につきましては、一定の成果は上がっていると。ただ、その取り組みにおいて、関係性が明確でないと、それから今しばらく推移

を見守っていくべきだという評価。それから何を重点に施策を展開しようとしているのか。そこが判然としない。それから私どもは南部に臨海部を抱えてございますので、地域によっては区民ニーズが異なるのではないかと。そういったことへの対応が必要ではないかと。それからもっと強い情報発信、相談体制の充実。庁内でも子育てに関するいろいろな部署がございまして、情報や問題点の共有を定期的に図るべきだということ。それから最終的には26年度の目標に向けてコストをかけて取り組むべきだと。こういったご評価を頂戴したところでございます。

20ページから22ページかけまして、施策の12「健全で安全な社会環境づくり」でございまして、これはかなり厳しいご評価を頂戴した施策でございました。この施策は放課後の子どもたちの安全・安心。もしくは放課後とは限らず、子どもたちが地域で安全・安心の元に成長できるシステムを作ることによって成長を見守るとというのが大きい趣旨でございまして、私ども区の施策といたしましては大きく江東きッズクラブということで事業をスタートしたところでございます。それからその他の事業では、子ども110番の家事業等があるんですが、こうした取り組みについて、22ページにございますように施策の目指す姿と、それから例えば江東きッズクラブにつきましては、学童保育クラブと保護者がお働きではないけれども、通えるという新たな形を融合した形なのですが、施策の目標と事業の取り組みは、うまく調節されていなくて、よりこの施策の目指すところに向けた事業の改善が必要であると、こういう端的なご指摘を頂戴しました。ただ、待機児ゼロ。要するに学童クラブの待機児がゼロということは区民ニーズには対応しているだろう。ただきッズクラブを展開していくにしても、利用者、親御さん、子どもも含めて、きちんと調査をした上でより良い事業にして欲しいということ。それから23ページの改善点にございまして、この施策だけには限りませんが、例えば教育委員会と行政部局等、こういったところの縦割り意識、こういったものが本施策の本質的な課題ではないか。こういった厳しいご指摘。それからこの施策は誰が対象なのか。小学生なのか、中学生も必要ではないか。こういった対象となるものが明確ではないところでの施策の展開はいかがなものかと。こうした厳しいご指摘、ご評価を頂戴したところでございます。

33から35ページをご覧いただきたいと思っております。施策の17「コミュニティの活性化」につきましては、今回のご評価をいただくにあたっては各施策で重要性が指摘されたところでございます。区の取り組みとしては、参加促進、情報発信、環境整備、交流の促進ということで方向性を示してございまして、行政として問題にしてございまして、新たに

江東区に転入された住民の方と従前からお住みの方との交流が足りないのではないかという問題意識を持ちながら自治会なり町会の拡大を図りたいというのが大きな考え、もしくは、近年急増している外国人の方に対する対応が欠けているのではないかという問題意識は持っているところでした。それからこれに対するご評価が35ページになってくるわけですが、私ども気づきませんというか、新旧住民の融合ということではなくて、転入者同士の繋がり、そこにも注目すべきだろうという評価を頂戴してございます。ただ、自治会、町会等、組織作りについては今区が進めていることについては是とする。それから新たに協働事業ということで、事業の展開あるいはサイトの立ち上げについては期待をします。これを基盤として更なる広がりにつなげて欲しいという評価。それから地域ごとで例えば外国人の方にアプローチするにしても取り組みの方法が違うのではないかと。やはり江東区の特性を踏まえた地域ごとの仕組みづくり、こういったものを考えるべきであるということの評価を頂戴してございます。

72、73ページにかかってまいりますけれども、この総評につきましては、全施策に係わることを指摘すべきではないかということがございまして、施策をまたがるもの、それから今後の検討課題だと。評価をするにしても評価の仕方についても検討課題となるものについてをここにまとめるといふふうにしてございます。丸が8つございまして、72ページの丸の1～4番目につきましては、昨年取りまとめました総評の中でもこれからも活かしていかなければならないものについてでございます。今回、今年度の評価をいただく中で出てまいりました視点につきましては、72ページの下から73ページにかかってまいりますけれども、単に区民ニーズがあるからということで、私どもから施策の取り組みをしようというのではなくて、施策が目指す江東区の姿ということで各施策が掲げた目標を見て様々な取り組みをするべきではないかということと、達成状況を示す指標については、わかりやすいものを検討すべきだと。これは今回頂戴いたしました。73ページの上の丸では、全施策については、区民ニーズの調査なり分析が足りていないと。何が必要かということと、どう展開するかについては、全施策にまたがってきちんと検証するべきということと、それから事業者、区民、行政との役割分担について追求をしたうえで施策の取り組みをすべきだという評価を頂戴いたしました。それから17の施策のところでも申し上げましたけれども、コミュニティの活性化というのは1施策ではなくて、例えば子育て、福祉、教育、青少年、住宅、こういったところでのすべて基盤になるフィルタを通して様々な役割分担なり取り組みを考えるべきということで、総評で残すべきというご意見頂戴いたしましたのでここに取り

まとめてございます。最後に、3月11日の震災後、経済的見通しも当然ながらこれを踏まえた施策の見直し、検証、これが必要ではないかということで総評のところは取りまとめをさせていただいたところでございます。これらの報告書をまとめさせていただいた内容の構成、それから主なところでございます。

10ページをご覧いただいでよろしいでしょうか。10ページの上の担当の班がございまして、委員名を表記してございます。当初皆様にご理解をいただきながら進めてまいりましたけれども、体調の都合で評価にご参加できなかった委員がございました。ただ、委員として今回ご参加という形でございまして、よろしければ委員名というところ、各施策の班名を残させていただいて個別の委員名は削除させていただいて、施策名を大きく表記することで各施策整理をさせていただけないかなと思っているところでございます。ご理解いただければそういった表記でこのあと整理をさせていただきたいと考えておりますのでよろしく願いします。

副委員長　それでは本日は今ご説明いただいたことも含めてですけれども、事前に配布していただいております、ご覧をいただいた上での最終的に何かご意見ありましたら、お伺いをしたいという、そういう場です。最初にお聞きしますけれども、ご意見、今日、お持ちになっていらっしゃる方がいましたら挙手いただいでよろしいでしょうか。

(挙手なし)

今、事務局のほうからご提案をいただきました件重ねてちょっとご説明しますけれども、各施策の評価の際に、ご欠席になった方とか、ご欠席でもシートは提出された方とか、ご欠席でシートの方ご提出になれなかった方とか、各回ごとに、各班ごとに様々ございます。この報告書の5ページをご覧いただきますと、各班の委員名はちゃんと施策とともに表にして整理されているので各施策の評価のまとめのところに重ねて表記することもなかろうということと、69ページとか担当班が空欄になっていますが、担当班が右の全委員ではなくて、担当班1、2、3ということで十分説明はできるだろうと。そういったことで処理してはどうかということですよ。

委員　今のは委員名を外すということで了解を求めたのですか。前年度も評価委員を入れてありますよね。こういう評価の仕組みが2年がかりでやっているのであれば、昨年度と同じような形で載せた方がいいように思います。

副委員長　昨年度と同じような形で今年載せていました。ですが、5ページの方で班の方のお名前は明示はされているということで、それでいかがかということでおはかりしたので

すが、こうしなければいけないということはありませんので、ご意見有りましたらよろしく
お願いします。実は厳密にすれば、そのヒアリングをやったときのご欠席で評価シート
の提出もなかった方につきましては、ここにお名前がなくても当然いいということもありま
す。そうすると各施策のところでお名前をもし書くとしたら、いづれにしても意見表明され
た方のお名前が載っているというふうになります。ただし、全体会でご了解いただけますか
というのは各班の方もさることながら、各班の担当以外のところにも、もしご意見があれば
お伺いすることもございますので、担当はこの班だったけれども、委員会のみなさんでこの
評価について了解しているというふうに整理をするということも当然できるわけです。です
ので、そこで躊躇したのは、この回はこの方とこの方で、この方はいなかったとか、いうよ
うな区別をして整理をすることに躊躇があったわけです。委員からご意見を頂戴いたしまし
たが、委員名のところを削除するというご了解をいただければと思いますけれどもよ
ろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、この案を持ちまして当委員会の報告書というふうにいたしたいと考えます。ご
異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。この後、事務局において字句の整理等の修正をしていただいて、
副委員長にご一任いただくということでご了承いただければと存じます。

以上を持ちまして議題の平成23年度外部評価結果報告書案については終了といたします。

副委員長 今年で2年目となりました外部評価委員会ですけれども、これで長期計画に定
める全施策の外部評価を2か年かけて実施したということになります。お聞きしております
ところでは、来年度以降も引き続き当委員会の活動は続くということですが、今年
度の外部評価作業はこれで一応終了ということになりますので、本日、委員の皆様から最後
に一言ずつお願いをしまいたいと思います。私の方で名前を申しますので、一言ずつ感
想などおっしゃっていただければと思います。

委員 どうもありがとうございます。昨年度と今年度、参加させていただきまして、両年
度とも班長ということで、主に教育、子育て支援、コミュニティの活性化等の施策を中心に
評価にあたらせていただきました。私自身は埼玉県民でして江東区のことは必ずしも良く存

じ上げているわけではないのですが、なるべく客観的、一般的に評価の作業が進められるようにと努力したつもりではございましたけれども、区民の委員の皆様が思う存分評価の作業の中でご意見等をお出しただけかどうかという部分については、自分自身の中で必ずしもうまくいったかどうかという心配はございますが、ともあれこういう形で報告書の形になりましたことは大変喜ばしく思っております。副委員長からもございましたとおり、来年度以降も引き続きこの評価委員会の活動は続くということでございますので、この2年間の活動をベースにして更なる発展を遂げられることを願っております。今年度までどうもありがとうございました。

委員 班の運営にご協力いただいた、一緒の班で取り組んできた方にどうもありがとうございましたとお礼を申し上げたいと思います。私は今年からの参加だったのですが、一昨年にこういう枠組みが是非とも必要ですと江東区にご提案をした立場にいた経緯があるのですが、こんなにしっかりとやられているというのを現場で目の当たりにして正直ちょっと驚いたというか、なかなかここまで徹底して現場の情報を出すということと、出された意見に対してこういう形できっちりまとめるということは、なかなか難しい。去年の処理を拝見しているとそれが予算にもきちんと反映されているので、これもまたなかなか難しい。企画と財政というのは権限が別でして、予算の査定は財政の専権事項ですから外部評価委員会からこんなことを言われたのでこの事業を切ってくださいと言われて、はい、そうですか。というわけにはいかないわけです。そういう意味ではものすごくきちんと答えを反映というか対応されていて、そこもなかなかすごいことだと思っています。こういう形で参加させていただくことも、裏方としてお手伝いすることも、行政評価という形ではあちこちでいろいろ関わらせていただいているので、そう意味ではすごく質の高い場に参加させていただいてありがたかったなと思っています。班の運営そのものについては、ちゃんと皆様の意見がスムーズに出るように運営できたかなということには自信があまりないのですけれど、とりあえずは自分自身も含めて、多少土地勘があったので、ましてや区民の方々は住んでいらっしゃるのだから踏み込んだ質問が出ていたように思います。そういう意味では評価の中身は相当生々しく踏み込んだコメントも最終的に含まれているというふうに思っています。区の皆様にもちょっとだけお願いを申し上げておきたいのは、たまたまなのですが、私の班の担当の施策というのがどれもモニタリングが難しい。民間の主体にがんばってもらいたいという性質ものが多かった、緑の育成とか防災ですとか。民間の主体の方々に自分たちの努力でこうしたことを目指すみたいな施策だったり事業だったり。それは必要なことなのですが、それが

どれぐらいがんばっていただけているんだろうか今現在。実はあまりわかっていませんというのが結構多かった。それはどこまでも客観的に正確に押さえるのは難しいと思うのですが、大体これぐらいの水準には来ているであろうというような大まかな水準でも把握をする。それによって過剰な投資を避ける。あるいは必要なところに投資をする。その把握にお金がまた必要になると判断が難しいところではあるかと思うのですけれども、可能な範囲でご努力いただければと。震災の影響で財政がどこの自治体も厳しくなってくるので、そういう意味では必要なところにきちんと必要なことがなされるようにしなければならない。そのためにはやはり現状がどうなっているかということが大切であると思いますので、そこをお願いしたいと思います。以上です。どうもありがとうございました。

委員　私は2年間担当させていただきまして、施策実現に関する指標が、必ずしも今回評価するに当たってマッチしなかったのがいくつかあったなという感想がありました。先程のご意見と近いかもしれませんが、そういう指標がまずマッチしてないとその後モニタリングしていくことにもうまく繋がらないということがあるので、できれば施策実現に関する指標自体をこういう場で話し合う機会を設けることができれば更に進むのかなと思いました。全体的な感想としては、江東区は財政も含めて恵まれているなと思ったんです。財政もそうですし、若い人口も最近増えていると。是非もうちょっとそういう面を、他の区から見ても非常に江東区は魅力的だなというふうに実態を知ると思うのですが、もっとアピールすればいいのと思いました。大変なことをいろいろやっているということが、こういう場に参加するというで判ってきたのですが、是非それをアピールしていけば、江東区のよさが伝わるのではないかと思います。

委員　今年度からの参加になります。なかなか参加できずに申し訳なかったなと思います。私のほうから2点ほどありまして、今回の評価結果が2年でどのように変わったかという一覧表があるといいなという感じはしました。それが無いとモニタリングできませんので、そういう一覧表があって、この評価期間こういうふうに変ったんですよとか、増えたんですよとか減ったんですよとか、あるといいなという感じはしました。もう1点ございまして、今回の報告書を見させていただいて、文章での結果なのでよくわからないんですよ、良いのかな悪いのかなと、多分良いんだろうなという感じなんですよ。これは来年度以降の検討かもしれないんですけども、いわゆる点数化というのも必要かなという感じはしました。点数で3点、5点、1点とすれば、極めてクリアなのですけれども、やはり文章にしてしまうとなかなか判らないという点がありますのでその辺も検討していただければと思いました。

来年度もし関わったら全回出席でがんばろうと思いますので、どうもありがとうございました。

委員 昨年から関わらせていただきまして、私は、こういうのが不慣れな中で参加させていただいたのですが、非常に楽しい時間をすごさせていただくことができました。行政の予算とかいろいろなことを勉強することもできましたし、評価の感想ということなのですが、報告書を見ておきますと、何箇所かに役割分担とか横断的という言葉が使われているんですね、行政の組織の中でそういうことがいかに柔軟にできていくのかということが、大きな成果なんだろうなというふうに思います。私が関わっていたところでは、教育とか福祉とかというところだったのですが、教育も福祉も成果が出るには数年かかると思うんですね、特に教育は子どもたち小学生が世界に貢献するようになるまでにどのように大人たちが、社会が関わっていくかというようなところが大事ななというふうに思うので、点ではなくて線で繋げていってというところですね。長い目で見えていって、成果として出せるような感じがあるといいのかなというふうな気がします。福祉も少子高齢化という中で、子どもが増えている特異な区ということで、私は少子化の勉強ばかりしておりましたので、その辺のところではいろんな地域がいかに地域性を出して発展していくかということも楽しみにさせていただきたいなというふうに思います。最後に私どもの班は非常に評価が厳しいとある方に言われたのですが、それだけ皆様が一生懸命やっていると、一生懸命さをしっかりと受け止めていただいて、しっかり文章にしてくださっているというのは区の方々の真摯な姿勢をうかがえて非常にうれしかったなというふうに思っています。ありがとうございました。

委員 2年間関わらせて参加させていただいて、一言で言えば大変勉強になりました、どうも先生方ありがとうございました。区の皆様もありがとうございました。

区民の視点から、私は一般人なので、やはりわからないこと、ここの紙に書いてあることではわからないことを率直に伺ったつもりだったのですが、やはりそれに対するご担当の方からのお返事がとても役所的な返事で最後まで一生懸命聞くのですが私が何をわからないのかおわかりになっていないのかなと、最後まで聞いてもそうとしか思えない返事がずいぶんあったことで、非常に守りに入っているというんですか、こういう場なのに打ち明けている実はこういうことが困っているのですけれど、これはこう書いてあるけれど出来ないんですよとか言うてくださればいいのに、守りに入った回答しか得られなくて、それに対する私の評価はどう書いたらいいのかというのが実はよくわからないことも半分以上ありました。それから外部評価シートの書き方なのですが、こういうふうに書いてくれと言われたから一

生懸命こういうフォームで私は書きましたけれど、これが本当の外部評価シートとして、良い書き方なのだろうか、施策の目標に対して成果を上げているとか区民ニーズとか区民との協働とか、ここはポイントで区の方はここが聞きたいんだろうなというのはわかるのですが、施策の種類によってはこれに当てはめて書くことが非常に苦しくて、私は文章力も無いので上にいたり下にいたり最後に上のものをコピーして下に持ってきてたりとか、非常にこのフォームに当てはめることが苦しかったので、一般区民としてはこういう書き方はとてもやりにくかったです。どういうふうに改善したらいいかまで言えなくて申し訳ないのですが、来年度以降は是非もう少し書きやすい評価シートにしていだけたらと思います。ありがとうございます。

委員　私は江東区に40年住んでおります。1番この中で長いんじゃないでしょうか。私は江東区好きですし、この40年で本当に大きく発展したし綺麗になったしとても良くなっていると思うんです。だからこの評価も去年も今年もそうですが、甘い評価。つまり、良かったことは良かったと言い、前進したことは前進したと言い、まだ駄目なところは駄目なところと言うのが良いのじゃないかと思ってそういう姿勢で臨んだつもりなんです。区民というのは要望ばかりして、これが足りないと言うことが多いのですが、公園ひとつとっても40年前とはものすごく違う。緑の量だって3倍も5倍もなっていると思うのです。だから前進的なものと、まだ行われていないものと、きちんと分けて評価していくことが必要だと私は思いました。相対的には江東区というのはみなさんよくやっていたら、また甘く言ってしまいますけれど、今でも思っております。それから先程牧瀬先生が点数で評価したらいいとおっしゃいましたが、その通りだと思います。文章だと評価して書いているのか非難して書いてあるのかすごく曖昧になると思うので、書き方、駒田さんもおっしゃいましたけれども、点数をつけてくれ、1から10とか、というふうにやったらもう少し明確になるのではないかと思います。それから要望ですが、来年またおやりになるのであれば、この夏の時期を外していただきたいと思います。どうもありがとうございます。

委員　感じたことを少し話させていただくと、自分の意識不足と言うんですかね、能力不足みたいな、一生懸命資料は読んだのですが、なかなか頭に入ってこない。ですから反省を含めて申し上げますと私が意見を言ったことがどうも行政に嫌味に取られたのではないかなという感じがしております。全体で感じたことは、私が江東区の区役所を見ている中で思っていた以上に縦割り行政だなという感じがしました。それは率直にそんな感じがあったと。それと、昨年とは比較はできないのですが、今年度は昨年の評価とは大きな事情が違うんだ

ろうなど。それは大震災があったと。大震災というのは行政も区民もそれぞれの立場で原点に戻る事例ではないかなと、そのような感じがします。特にこういう大震災のときの行政同士の横の連携というんですか、あるいは地域、あるいは住民と行政の関係をもう少し見直す良いタイミングではないのかなと。次年度に向けてもひとつの江東区の行政が変わるターニングポイントといえますか、ひとつの契機になる事例ではないかなと。ですから私も結構言ったのは防災の関係にも関心があるので、やはりそういうところを切り口に連携はどうかと、そういうところでいろいろ切り口はあるかと思うのですが、前提としてはその大災害がもしこの地域に起きたときに機能するかどうかということを改めて話題にして欲しいなということが私の率直な感じです。ありがとうございました。

委員 私は江東区に住んで、まだ6、7年くらい。しかも住んでいるところも豊洲という特殊な地域、かつ区役所との関わりというのは、こどもが生まれたときに来たくらいという、その程度の非常に、こういう場に来るのは場違いかなというような立場ではあったのですが、非常に勉強になりました。非常にいい経験をさせていただいてありがとうございました。感想なのですが、ほとんど大塚委員と町田委員におっしゃられたこととほとんど同じなのですが、同じこと言うのもなんだと思いますので、そんなには言いませんけれども、やはり気になったのが指標のところではあります。江東区が思ったよりもやっているなというような印象は持ちましたし、まだまだ課題はあるなという点も、そういうのが合い半ばするような感情というのが正直な感想であります。短い期間でしたけれどもありがとうございました。

副委員長 安念委員長がご不在ということで、緊張しながらやってまいりましたが、各班長、各班の委員の皆様も本日こうやってまとめ合うということでご了承いただきましたことを大変ほっとしておりますし、改めてお礼を申し上げたいと思います。感想というところでは、先程委員がおっしゃったことに近いのですが、職員の方々は特に区議会での対応にある意味慣れていらっしゃるって、施策、事業について、とやかく言われると、区議会での対応のように構えられて、別に評価をしているだけで、何を要望しているわけでもないのですが、それについては善処いたしますとか検討いたしますとか、やりますとこの場で約束されても困るのですけれども、つい約束をすることでその場を逃げようとする、そういう感覚があって、決して選挙で選ばれた議員によって構成されている議会ではありませんし、真摯に評価をしたいということでお集まりの委員ですので、是非そこは構えを無くして次年度以降、対応いただきたいと。私の経験で申しますと、議会での答弁というのはある意味、のらりくら

りとして長々と説明しているうちになんとなくわけが判らなくなってしまって事が収まるといったような雰囲気があるんですね。もちろんこちらの議会は傍聴したことは一度もないのですが、先程の委員のご指摘のように職員の部長、課長には、はっきり言って端的にお答えになっていただいたほうが、率直な議論ができますので、是非そういうふうに対応いただくように反省および反映をしていただきたいと思います。今、委員のご感想をお聞きしておりまして、大変うれしかったのは、総評ですね。今回、総評に新たに4つぐらいのポイントを挙げておりますけれども、成果をなんとするのかと、成果を判るようにしようということと併せて指標は適切なのかということ。それから庁内の横断体制、あるいは縦割りを無くしてきちんと対応していけるような体制も必要だといったようなこととか、あるいは地域の力とか住民の力とかコミュニティの力とかというところを明確に追求していくというようなことの必要性だとか、各班ともに問題意識をその辺に集中していたと、喜ぶというのは変ですが、小委員会で議論したときにもそういうことが確認されまして、今回総評に掲げたことが適切であったなということで、安心をしている次第です。今日で評価作業終わりますけれども、次年度以降の引き続きこのような取り組みをなさっていくので、事務局の部長、課長のご苦労と、各部課長からの反発とか大変だと思いますけれども、この部長、課長なら大丈夫だと思いますので引き続きご努力いただければと思います。

最後に事務局から何かあればお願いいたします。

事務局 最終日におかれましても厳しくご指導いただき、ありがとうございます。本来であれば区長の山崎から御礼を申し上げるところでございますけれども、本日夜間でございますけれども、他の公務に出ておりますので、私の方からご挨拶をさせていただきたいと思っております。本日は平成23年度外部評価の報告書につきましてご審議をいただきまして、貴重なご提言をいただき誠にありがとうございます。昨年度から始まった本制度につきまして、手探りで事務局も始めてきたところでございますけれども、2年目となる本年度、公募委員の方の枠を増やしまして、その上で昨年以上に生きた議論がなされたものだというふうに考えてございます。私たち今後行政運営を進めていく上で基本構想にうたわれております、「みんなでつくる」という精神の大切さを改めて再認識をしたところでございます。改めて各委員の皆様には厚く御礼を申し上げます。特に木村副委員長ならびに藤枝委員、大塚委員、両班長につきましては、安念委員長不在の中、議論の取りまとめにご尽力いただきまして本当にありがとうございました。本年3月11日の震災後、本区のみならず日本全体がその対応に追われておりまして、今後も我々の頭の中から離れることはないだろうと思ってお

ります。江東区がなすべきこと、これだけではございませんけれども、震災への対応のみならず他のすべての施策に対しても努力していくことをこの場でお誓いをしたいと思います。今後も区政に対してご意見いただくよう改めてお願いを申し上げます最後に事務局としていろいろ行き届かなかった点あるかと思えますけれども、皆様からいろいろ励ましとかご助言いただきまして、お礼を申し上げます私のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

事務局 事務連絡でございます。謝礼金の請求書でございますが、住所・氏名をご確認の上、ご印鑑を押印ください。

副委員長 以上を持ちまして第7回江東区外部評価委員会を終了いたします。委員の皆様方には当委員会の運営に大変ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。これにて閉会といたします。